

社会福祉法人宮崎福社会 波島保育園 様

宮崎県社会福祉サービス
第三者評価結果書

令和元年 7月31日

評価機関名 特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日：令和 元年 7月31日

評価機関：特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	波島保育園	種 別	保育所
代表者氏名	園長 根井智香子	定 員 (利用人数)	100人 (119人)
所在地	宮崎市波島2丁目 12番27号	TEL	0985-28-9136
		FAX	0985-29-7166
ホームページ	http://www.fukushikai.or.jp/namishima/		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

- ・特別保育（1/1～1/3を除く）を実施している。
- ・縦割り保育や遊びが選べる工夫をしている。
- ・絵本に興味関心を持つような取り組みをしている。
- ・エイサーや和太鼓を通して地域交流をしている。

② 改善が求められる点

- ・各種マニュアルの定期的な整備と職員への周知。
- ・保護者との信頼関係の構築と相互理解へ向けた取り組み。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の受審で保育環境、保育内容、運営に関していただいた評価を全職員の励みとし、改善に向けて努力していきたいと考えています。

今回の課題については全職員で討議し、保護者の方の声も真摯に受け止めながら信頼される保育園になれるよう努力していきたいと思ひます。

2 施設・事業所情報

経営法人・ 設置主体	社会福祉法人 宮崎福祉会
開設年月日	昭和23年10月1日
理念・基本方針	<p>理念「きらきらかがやくひとみ」子どもの最善の利益を考慮し子どもが心身共に健やかに育つためのもっともふさわしい生活の場であるよう保護者や地域社会と力を合わせ援助を行います。</p> <p>方針：①信頼される保育園 養護と保育を一体的に行い環境を通して子どもの保育を総合的に実施します。②地域に根ざす保育園 積極的な地域貢献を行います。③信頼される保育園 職員共通理解のもとチームワークと愛情をもって一人ひとりの子どもと向き合い保育することに努めます。</p>
事業内容	保育
職員数	常勤職員数 22名 非常勤職員数 5名
専門職	<p>(専門職の名称)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士 24名 ・調理員 3名
施設・設備の概要	<p>建物面積 630.651㎡</p> <p>【居室】保育室6室・調理室1室、事務室1室</p> <p>【設備】トイレ・沐浴流し台・配膳用リフト・冷暖房</p> <p>【屋外設備】遊具</p>
特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境、おもちゃ、絵本の整備に力を入れており、絵本たよりを毎月発行し、絵本に関心を持てるよう、読み聞かせや貸し出しを行っている。 ・同地区にエイサー保存会があり、地域の高齢者からエイサー（舞踊）の指導を受け発表会で披露している。また、地域行事での和太鼓の披露を継続して行っている。 ・エコ活動に取り組み、ペットボトルキャップリサイクル活動や、地域のごみ拾いに参加している。

3 評価分類別評価内容

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針の確立	職員に年度初めに理念・方針等について説明を行い職員会で内容を確認し全職員共通理解のもと、方針がずれないように運営、保育を行っているとのこと。年度初めに利用者との個人面談を行い園の方針や姿勢を周知する工夫をされていますが、周知されているかを確認する手段が必要と思われます。
2 計画の策定	中期計画をもとに、年間事業計画を作成し、実施、評価、見直す仕組みがあることを聞き取りから確認しました。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 経営状況の把握	法人全体で、経営課題を解決していく努力をされていることが聞き取りから確認できました。今後の具体的な取り組みに期待します。
2 人材育成と確保	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施しており、全職員が研修に参加しています。採用や人事管理については、法人本部で一括管理されています。
3 安全管理	法人園長会において委員会が設置され、情報収集、管理が行われ改善策、再発防止等の検討会議が設けられています。毎月の安全点検やヒヤリハット報告書を作成し、全職員で確認し、未然に事故を防止できるよう工夫されています。
4 地域との交流と連携	園の方針、事業計画に地域貢献、地域交流が記載され、地域の祭り、敬老会の参加、老人福祉施設の訪問等を行っています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者の尊重	個別指導計画、記録が作成され、子ども発達状況と成長に応じた援助が行われています。必要に応じて専門機関・関係機関に相談が行われ対応の仕方の助言を求められています。職員は障害児研修などで学んだ知識や情報をもとに、保育で実践するなど、保育に活かされている様子が伺えました。
----------	---

2 利用者満足の向上	担当制を取り入れ子どもとの愛着関係を密に応答的に関わりを持っています。利用者である子どもだけでなく、保護者やその他の保育者へも適切な情報提供を行い、相互理解のもと一体的な保育が展開されることを期待します。
3 サービスの質の確保	自己評価が経験年数や職種により評価内容を変えて、年2回行われ、主任・施設長による考察などを踏まえ保育実践の振り返りや意識・専門性の向上に繋がっていますが、保育者同士が互いに自己研鑽し学び合い、より高い意識の向上に繋がることを期待します。
A 保育課程の策定	指導計画の評価・検討を行う際に時期、検討会設置、保護者意向把握・同意、変更内容等の周知といった様々な手順、組織的な取り組みを定め保育の質の向上に繋がることを期待します。
A 保育環境の配慮	子どもが自主的、自発的に遊べるように遊具、道具、空間などの環境の整備がされています。戸外遊びの時間も確保され異年齢による人間関係も構築される工夫がされています。
A その他	休日保育や延長保育等も実施され、保護者が安心して働けるように配慮されています。今後、さらに子どもと保護者のニーズの把握と保育所以外の社会資源の活用に向けた支援の充実を期待します。

詳細は別紙「評価結果表」を参照。

評価結果票
【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		評価
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
評価コメント		
職員に年度初めに理念・方針等について説明を行い職員会で内容を確認し全職員共通理解のもとに方針がずれないよう運営、保育を行っています。年度初めに利用者との個人面談を行い園の方針や姿勢を周知工夫されていますが、利用者アンケートの結果から、周知されているかを確認する手段が必要と思われます。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
評価コメント		
宮崎市からの指定管理であり、市との連携で社会福祉事業全体から市及び当該地域の福祉ニーズも把握、分析されていることが事業報告や聞き取りで確認できます。財務諸表から経営が良好であることを確認しました。		
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
評価コメント		
法人全体で、経営課題を解決していく努力をされていることが聞き取りから確認できました。今後の具体的な取り組みに期待します。		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
評価コメント		
中期計画は目標年度を設定し、それに沿って評価、見直しを行なっている。理念や方針を反映できるような具体的な取組を明確にしている。法人幹部で、取り組まれていることを聞き取りから確認しました。		
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
評価コメント		
中期計画をもとに事業計画を作成し実施、評価、見直しを行っている。法人幹部で、取り組まれていることを聞き取りから確認しました。		

評価結果票
【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>評価コメント</p> <p>事業計画は、全職員で意見を出し策定されていますが、評価の職員参画について課題があると自己分析されています。今後の取組みに期待します。</p>		
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
<p>評価コメント</p> <p>行事開催の折に保護者に説明したり、個別面談などで各家庭に文書配布されていることを、聞き取りで確認しました。しかし、「具体的な説明や周知と理解には課題がある」と自己分析されています。今後、保護者が行事に参加できない家庭等への周知と理解について、さらなる配慮が望まれます。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>評価コメント</p> <p>今後、保育内容について、組織的に評価を行う体制づくりや、計画的な受審に向けた取組みに期待します。</p>		
9	② 評価にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>評価コメント</p> <p>職員の自己評価を職種別、経験年数別に作成されて、取り組まれています。評価の集計や分析の結果がPDCAのサイクルに沿って計画的な改善に結びつくことを期待します。</p>		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>施設長は、自らの役割と責任について、広報誌等で表明していく必要があります。</p>		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>施設長は、幅広い分野の法令を把握し、職員に周知し、また遵守するために具体的に取組まれることを期待します。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
評価コメント		
保育の質を向上させるべく、各種研修への参加の機会を提供されています。それが、定期的、継続的な評価分析とそれを把握できる体制構築に向け、指導力を発揮されることを期待します。		
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
評価コメント		
特別保育事業や防災に関する取り組み、社会貢献等を行ったり、保育、経営の質をあげる為に色々な研修に参加されていること、スタッフ同士の交流や人員配置に気を配り、働きやすい環境整備に努めておられることが、聞き取りから確認できました。今後、経営改善や業務の実効性の向上に向けた具体的な取組みに期待します。		

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
評価コメント		
採用や人事管理については、法人本部で一括管理され、適時、人事異動があり、働きやすい職場を目指しておられることが、聞き取りから確認できました。しかしながら、その他の専門職（栄養士や看護師、社会福祉士、精神保健福祉士等）の配置と活用についての検討が期待されます。		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a
評価コメント		
処遇改善にあたっては、自己評価を行い、それを主任、施設長が評価してそれをフィードバックされています。法人の制度委員会において、職員処遇やメンタルヘルス等あらゆる面において話し合いを行っている。決まった事は法人広報誌で公開していることを聞き取りから確認できました。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
評価コメント		
月9日の公休と有休が取得しやすくなるように、職員間の親睦が深まるように努力されていることが聞き取りから確認できました。その結果、平均在職年数が16年であることが、資料から確認できました。		

評価結果票
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>年に2回、職種別、経験年数別の自己評価表を用い、自己評価をしておられます。今後は、適時、進捗状況や目標達成度の確認と目標修正等の工夫が望まれます。</p>		
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>研修計画が明確に策定されており、保育の向上、職員の育成に努力されていることが、研修計画や事業報告等からも認められます。研修の成果発表等により、他の職員との共有が図られていることを書面で確認できます。</p>		
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。全職員が研修に参加しています。研修の内容は全職員で共有できるよう、復命書を回覧している。さらに、虐待研修等は、外部から講師を招いて園内研修を実施する等、研修の機会が確保されていることを聞き取りから確認しました。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p>評価コメント</p> <p>実習受入れに関するマニュアルの整備と全職員への周知、さらに、指導者に対する研修等が求められます。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人ホームページにおいて然るべき情報公開がなされ、保育園ホームページでは、入園のしおりや方針、目標など利用者や関係者への情報公開がされています。また、地域への情報公開として法人新聞が発行され法人内の各事業所の活動取組などが公開されていますが苦情相談の体制や内容にもとづく、改善・対応状況の公表について、検討が望まれます。</p>		
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>評価コメント</p> <p>法人本部において事務、経理、取引等のルールが明確化され、保育園においても権限、責任が明確にされています。また法人において内部監査が年2回行われ、税理会計事務所のチェックが行われ指導、改善が行われています。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>園の方針、事業計画に地域貢献、地域交流が記載され地域の祭り、敬老会の参加、老人福祉施設の訪問等を行っています。また、地域の招待で芋ほりや大根の収穫に参加したり、園と一緒に食事を楽しむ等行っています。園での取組としては、地域の人にきてもらって手作り玩具を一緒に作って遊んだりする交流を年に数回行っています。 今後は、個々のニーズに応じた社会資源を利用するよう推奨する取り組みに期待します。</p>		
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>小学校、中学校の体験学習の受け入れを行っている。ボランティアについては、チラシを作成し大学に配布したり問い合わせがあれば郵送できるようにしている。アンケート用紙も用意して、ボランティアの体験者の感想が聞けるようにしていることを聞き取りから確認しました。今後、ボランティア受入れに関するマニュアルの整備と全職員への周知、さらに、研修等の充実が求められます。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>小学校、中学校と接続や、特別支援等の連絡会を年に数回行っています。児童相談所や保健所と定期的に連携を行い気になる子どもの相談をしたり保護者を含めた見守り、支援を行っていますが地域の関係機関・団体について社会資源のリストや資料を作成し、職員会での情報共有と活用が望まれます。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
<p>評価コメント</p> <p>毎週火曜日に園庭開放を行い地域通信で呼びかけるなどしているが利用者は少なく、もっと気軽に利用してもらえるようにし、子育てサロン（支援、相談の場）へと繋げていけるよう検討がされています。災害時等の事業計画の中にも、災害時の地域住民の避難受け入れ場所として計画しさらに備蓄食等の補充を検討中である。地域のニーズ調査によって、子供の生活に役立つ講演会の開催や支援活動が望まれます。</p>		
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>地域の民生委員、児童委員との連絡会と地域の話し合いに年に数回参加し、園でも取り組めることがあれば、積極的に活動し地域のごみ拾いを園児と一緒にしている。今後、自治会や民生委員・児童委員等との連携を通して得られたニーズに基づき、公益的な事業や活動への発展に期待します。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>職員会において法人・園の基本理念保育方針・目標を理解する取り組みが行われ理念・方針に基づいた保育実践される工夫がされています。人権擁護に関するチェックリストを用いて標準的な方法が反映されていますが、性別・年齢・障がいなどの固定観念を生まない子どもの権利擁護を尊重した実践が行われることと更なる保護者理解への取り組みを期待します。</p>		
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
<p>評価コメント</p> <p>入園時に子どものプライバシー保護の説明を行い、保護者より同意を得られプライバシー保護・虐待防止等に関する規程・マニュアルが整備されていますが不適切な事案への対応など不十分な点が見受けられましたので、マニュアルに沿った保育実践とともに明示されることを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（決定）が適切に行われている。		評価
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>評価コメント</p> <p>法人・施設情報をホームページや園のパンフレット等を作成し利用希望者に保育所選択に必要な情報を提供を行い、重要事項説明書を玄関前に置き希望者が入手しやすいようにされています。見学希望者への説明、案内等も丁寧に行われています。</p>		
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>評価コメント</p> <p>保育開始の際に、園のしおりと重要事項説明書を活用し、標準時間・短時間保育や購入品の説明が分かり易いように説明され、同意書を得られています。また、配慮が必要な保護者への説明は、施設長自ら行うなどの取り組みが行われています。</p>		
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c
<p>評価コメント</p> <p>卒園児等に保育園でのイベント案内をするなどの配慮がなされています。今後は担当者や方法などを記した文書を配布するなどの配慮が必要と思います。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		評価
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>年度初めに全園児世帯との個人面談を行い、意見要望等を把握する取り組みが行われています。子どもの主体的活動が実践できる計画が立案されており、子どもの眩きや満足を把握する保育が展開されています。行事後にアンケート実施され日々の保育の見直し、改善に生かされています。今後は保護者会又は懇談会等で聴取した意見を参考に、検討会議を設置し、具体的改善方法が提示されることを望みます。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>評価コメント</p> <p>法人で第三者委員が設置され、苦情解決の体制は整備されています。また、苦情の内容、解決法、結果等はHPに年度末に掲載しフィードバックされています。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p>評価コメント</p> <p>入園の際に相談、苦情受付の説明がなされ、相談、苦情の述べ易い環境整備がされて担任、主任、施設長と相談相手を選べるように実施されていますが、複数手段や相手を選べる説明書類を作成することが望まれます。</p>		
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>評価コメント</p> <p>運営規程において相談・意見を受けた際の記録・報告の手順等は記載されています。また、意見箱の設置や日々の連絡帳活用など積極的に相談意見を把握する姿勢が窺えます。今後、定期的なマニュアル等の見直しにより様々な保護者への対応を期待します。</p>		
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>評価コメント</p> <p>法人園長会において委員会が設置され、各園はじめ専門誌や新聞、インターネットなどから情報収集や市や学校からの身近な情報収集、管理が行われ改善策、再発防止等の検討会議が設けられています。園においても毎月安全点検が実施され施設長へ報告がされています。ヒヤリハット報告書を作成して全職員で確認することで、自分では気づかなかったヒヤリにも気づき未然に事故を防止できるよう安全対策がされています。</p>		
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>マニュアルが作成され管理体制が整備されています。また嘔吐の際の処理セット等の準備され、方法も職員に周知されています。感染症が発生した場合は掲示板にて保護者へ情報提供され注意喚起もなされています。今後、担当者を設置し定期的に研修や実習の場を設けることを望みます。</p>		
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>評価コメント</p> <p>有事の際の対応体制が明確にされ備蓄品の整備がされており管理も適切に行われていますが今後、保育施設を地域施設として機能させるため自治会との連携体制を整備されることを望みます。</p>		

評価結果票
【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	c
<p>評価コメント</p> <p>施設長、主任、リーダーの指導、または研修等において標準的な保育が実践されていますが、標準的な保育実施方法をマニュアル化し、実施検証できる仕組みが構築され更なる職員の質の向上とプライバシー保護についてのマニュアル作成と周知を望みます。</p>		
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人研修や園での取り組みとして保育の標準的実施方法の実践が行われ見直し取り組みは行われていますが、見直しの際により多くの多様な立場の方の意見が取り入れられより良い実践につながることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p>評価コメント</p> <p>策定責任者のもと、指導計画が策定され、障がい児などは関係機関と協議し保護者の合意のもと適切に策定されています。</p>		
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c
<p>評価コメント</p> <p>指導計画の評価・検討を行う際に時期、検討会設置、保護者意向把握・同意、変更内容等の周知といった様々な手順、組織的な取り組みを定め保育の質の向上に繋がることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人において用紙の統一を図り、共通の書類で作成され、記録の書き方等は園内研修や法人年層別研修などで指導が行われています。定期的、または突発的な職員会議により情報の共有がなされていますが、情報の分別や必要な情報が職員へ届けられるような仕組みづくりを期待します。</p>		
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p>評価コメント</p> <p>法人において個人情報保護規程等が策定され保管、保存、破棄、提供の規定が定められています。また、保護者等へ個人情報取り扱いを説明会で説明され同意もいただいています。今後個人情報保護規定の観点から職員研修の実施を望みます。</p>		

評価結果票
【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		評価
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
評価コメント		
保育課程編成に関しては、職員参画のもと児童条例・法や保育指針の趣旨を捉え、保育所の理念・目標に基づき編成され、年度末に評価が行われ次年度の編成に生かされています。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
評価コメント		
室内に温度・湿度計が設置され住環境が適切な状況が保持できるように努力され、年齢に応じた遊具や家具の設置がされており安全点検及び衛生管理が行われています。子どもがくつろげる場所が確保され食事、睡眠が落ち着いてできるよう整備、工夫されています。		
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
評価コメント		
保護者面談を実施し家庭・発達状況等の理解、把握がされて、子ども主体的活動が確保され、子どもを尊重する保育が実践されています。		
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
評価コメント		
日々の保育で生活に係る援助を自主性を尊重しながら毎日行っています。基本的な生活習慣の大切さや理解を促すため絵本や紙芝居を活用して学ばせています。		
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
評価コメント		
子どもが自主的、自発的に遊べるように遊具、道具、空間などの環境整備がされています。戸外遊びの時間も確保され異年齢による人間関係も構築される工夫がされています。公共交通機関を利用した活動や園回りの遊歩道の活用により地域の方々等に接する機会や社会的ルールが習得できる機会が設けられています。		
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
評価コメント		
担当制を取り入れ子どもとの愛着関係を密に応答的な関わりを持っています。月齢に応じた玩具を用意し発達に応じた興味関心を持つたり身体を動かす保育が行われています。また、連絡帳や登園降園時の保護者との情報交換を行っています。		
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
評価コメント		
担当制を取り入れ子どもとの愛着関係を密に応答的に関わりを持っています。指先を使った遊びをコーナー遊びに取り入れ自らやりたい遊びを見つけて遊べるよう発達状況に応じた遊びが展開できる保育を行っています。また、連絡帳や登降園時に保護者と情報交換を行い家庭との連携を行っています。学生ボランティアや地域ボランティアを受け入れ、異年齢、世代間交流が行われています。		

評価結果票
【内容評価基準】

8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>評価コメント</p> <p>保育指針に則り、自主性・主体性が発揮できる保育計画、保育者の関りがされており、環境設定においても遊び込める設定がされています。小学校との連絡会や交流会を行い、活動を記した園だよりを保護者や地域へ配布されています。</p>		
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>評価コメント</p> <p>個別指導計画、記録が作成され、子ども発達状況と成長に応じた援助が行われています。必要に応じて専門機関・関係機関に相談が行われ対応の仕方の助言を求められています。職員は障害児研修などで学んだ知識や情報ををもとに、保育で実践するなど、保育に活かしている。今後は当該保護者やその他の保護者へも適切な情報提供を行い一体的な保育が展開されることを期待します。</p>		
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>評価コメント</p> <p>家庭的な雰囲気の中で個々の生活リズムに配慮した保育を行っており、スペースの確保もされています。延長保育等ではおやつが提供され、担当保育者以外には引き継ぎを連絡ノートや口頭で行われ、異年齢児で遊べる玩具も考慮されています。</p>		
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>評価コメント</p> <p>保育課程に小学校との連携等が記載され、保育計画で就学に向けた活動が行われています。保育参観等で保護者へ小学校へ上がる前の心得、準備等を記した文書を配り家庭でも就学に向けた生活習慣の獲得が促されています。アプローチカリキュラムが作成され小学校と就学に向け連携が図られており、担当保育者が小学校教員と意見交換や連絡協議が行われ、保育要録の作成が施設長責任のもと作成されています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		評価
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>既往歴や予防接種状況等については、入園時に保護者面談により聞取りが行われ、入園後も連絡帳や口頭で伝えてもらい児童票に記入されています。子どもの体調変化やけが等は発生時に保護者連絡され、翌日または完治時の確認がされています。乳児の睡眠チェックを5分毎に行いチェック表に記入して乳幼児突然死候群防止の取り組みがなされています。 今後は健康保健等のマニュアルを作成しSIDS等の情報、予防法等を保護者へ提供し家庭においても子どもの健康安全に関する意識向上につながることを期待します。</p>		
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>評価コメント</p> <p>健康診断(年2回)、歯科検診(年1回)、尿検査(年1回)蟻虫検査(年2回)を行い、日々の保育では検温等が行われ健康状態の把握に努められています。健康診断等の結果は文書や口頭にて保護者へ伝えられています。</p>		
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p>評価コメント</p> <p>過去に、複雑で重篤なアレルギー対応児を受け入れた実績と、その対応に真摯に向き合われたことが記録で示してあります。貴重な経験を生かし、医師の診断書をもとに除去食の提供やアレルギー疾患、慢性疾患の対応が行われ、職員間の情報共有が図られ適切な対応がされています。当該園児、保護者へ定期受診を推奨し発達に応じた対応もされています。除去食提供では医療機関からの指示書を延長保育日誌、休日保育日誌等に添付され、各職員が担当しても確認できるようにしています。 今後は、アレルギー・慢性疾患の園児が健やかに園生活を過ごせるように、他者への理解・協力を得られやすい取り組みが行われ、積極的な情報収集や方法の向上を目指して、多様な子どもが預けやすい園づくりになることを期待します。</p>		

評価結果票 【内容評価基準】

A-1-(4) 食事		評価
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
	評価コメント 各年齢の保育計画に発達状況に応じた援助や食育が記載され取組が実施されています。個々の好き嫌いや食欲に応じて量の調整やおかわりの準備がされています。また、季節や行事により園庭やテラスで食事をするなど環境や雰囲気作りの工夫がなされています。連絡帳に食事の日々の摂取状況の記載、給食展示や給食だより配布により家庭との連携が行われています。	
16	① 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
	評価コメント 発達状態に合わせて食材の大きさや固さ等が考慮された食事の提供がされており、メニュー等により食器の大きさ、形を変えて食べやすいような工夫がされています。残食が確認、記録され、保育者と連携し工夫がされています。 衛生管理体制が確立されマニュアルに基づいた管理が行われています。	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		評価
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
	評価コメント 日々の情報交換が連絡帳や送迎時に保護者とコミュニケーションを図りながら、伝達、情報交換がなされています。また、家庭との連携を個別記録計画に記入されています。保育参観が年2回、各種行事が行われ子どもの成長を保護者と共有できる場面となっています。	
A-2-(2) 保護者等の支援		評価
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
	評価コメント 保護者と連絡帳のやりとりや送迎時の会話や挨拶により日頃からコミュニケーションを図るように施設長や各保育者が取り組まれています。相談等を受けた場合は、経験年数や立場などにより助言を得られる体制や施設長への相談体制が整えられ、記録されています。必要に応じ職員会で職員に周知徹底されています。	
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
	評価コメント 講師を招いての虐待防止研修を園内研修が全職員参加のもと開催され、理解、知識を深め虐待の恐れのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努められ、関係機関との連携が図れる取組が構築されています。マニュアルは作成されていますが、昨今の児童虐待防止、人権擁護の観点から全職員がきめ細やかな配慮、対応が実施されることを期待します。	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の評価)		評価
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
	評価コメント 自己評価が経験年数や職種により評価内容を変えて、6月と1月の年2回行われ、主任・施設長による考察などを踏まえ保育実践の振り返りや意識・専門性の向上に繋がっていますが、保育者同士が互いに自己研鑽し学び合い、より高い意識の向上に繋がることを期待します。	